

インタビュー

夏季特集・企業インタビュー②

下半期から来年にかけての戦略、そして業界の方向性を聞く

7月15日号に続く「夏季特集企業インタビュー」第2弾。今回も注目の各社長、担当者に登場していただき、「業界不況」と呼ばれる厳しい現状の中でどのように戦略を練り展開しているか、具体的に語ってもらった。今回は健康食品製造受託、自然食、試験受託、企画会社、原料企業など多岐にわたる。掲載企業は以下の通り。

業界不況の中で、何が必要か



寺尾啓二氏 社長

「昨日メタボリックシンドロームに対する関心が業界内外で高まっています。メタボリックシンドローム(以下:メタボ)は体脂肪低下の効果も確認されています。寺尾 最近の研究では、CDが動脈硬化の原因となるリポタンパク質LDL「VLDL」「IDL」を減少させ、一方動脈硬化を予防するHDLには影響しないという効果のほか、不飽和脂肪酸はそのままで、トランス脂肪酸、および飽和脂肪酸を選択的に排除させることが判明しており、これを今年5月末に米国で行われたカンファレンス

シクロケム 社長 寺尾啓二氏

少量で効果期待できる新C00Q10で市場拡大を

「これまででも体重コントロール値、中性脂肪の有意な減少効果のほか、インスリンコントロール値の減少、またBMI値も数値が高い被験者ほど、改善傾向が見られることで、高脂血症の予防や心血管障害疾病のリスク軽減に効果的と考えられます。これまでも体重コントロール値、中性脂肪の有意な減少効果のほか、インスリンコントロール値の減少、またBMI値も数値が高い被験者ほど、改善傾向が見られることで、高脂血症の予防や心血管障害疾病のリスク軽減に効果的と考えられます。これまでも体重コントロール値、中性脂肪の有意な減少効果のほか、インスリンコントロール値の減少、またBMI値も数値が高い被験者ほど、改善傾向が見られることで、高脂血症の予防や心血管障害疾病のリスク軽減に効果的と考えられます。」

- シクロケム社長 寺尾啓二氏
エビテンスセンター社長 柿木博之氏
マウナウエスト社長 西本尚功氏
研光通商ヘルスケア事業部次長 村上太郎氏
調長 片山権一氏
レイベン製薬社長 榎上 貴氏
日本タケダヘルソラトリス社長 中山英和氏
ミナト製薬社長 北崎登世美氏
創健社長 中村靖氏
田村製薬常務取締役 田村栄治郎氏
グレイン
ヘルソコンサルティング事業部部長 宇田川雅生氏
エス・エス・アイ社長 竹口雅之氏
京都薬品工業・京都ヘルスケア社長 北尾和彦氏
生物学応用研究所社長 西園啓文氏
ヒューマングループ社長 三原西木氏
パレンティン社長 鈴木雅子氏

10という新しい形の製剤が増えてきており、これに併用薬も同様です。感覚的にも、ふたたび市場を拡大して業界を活性化させていきたい。現在の健康界の不況の理由は、健康食品が信頼性を失っていること、つまり「ありませぬ」が、それ以外に薬事法の関係で健康食品にも効果的な成分がないという問題です。これから期待したい包接対象素材は、寺尾 カロテノイド類です。

法整備によって、かなりエビデンス取りの行われている製品であれば、ある程度アピールできているのでは。私どもの最近の方向性として、医師向けに提供するサプリメントの提供を検討しています。近年、医師の立場からサプリメントを理解する人が増えています。